



発行：中野区議会自由民主党議員団  
〒164-8501  
中野区中野 4-8-1  
TEL：03-3228-8872  
FAX：03-3389-7586



編集：加藤たくま事務所  
〒164-0013  
中野区弥生町 3-15-2  
TEL：090-2230-2081  
FAX：03-6300-6004

✉:mail@kato-takuma.com URL: http://kato-takuma.com

【加藤たくまプロフィール】

経歴：1979年7月3日 東京都中野区生まれ、ほぜんじ幼稚園、中野区立仲町小学校、中野区立中野第九中学校、東京都立富士高等学校、中央大学理工学部土木工学科、中央大学大学院理工学研究科土木工学専攻博士課程前期課程・後期課程、博士（工学、中央大学大学院）取得

職歴：中央大学理工学部 教育技術員（助手）、国土交通省 国土技術政策総合研究所 河川研究部 研究官、一般財団法人国土技術研究センター河川政策グループ研究員、2015年中野区議会議員（一期目、区民委員会副委員長等）

役職：中野区国際交流協会 評議員、中野区土地開発公社 評議員、自由民主党中野総支部 青年部長、自由民主党東京都支部連合会 青年部総務企画副委員長、公益社団法人東京青年会議所 中野区委員会書記幹事、東京都立富士高等学校アメリカンフットボール部「スタリオンス」後援会長、東京都立富士高等学校同窓会「若竹会」理事、NPO 特定非営利活動法人日本移植支援協会 代表者の会メンバー

資格等：博士（工学）、技術士補（修習技術者）、測量士補、TOKYO 自民党政経塾（10期生）、公益財団法人中野区教育振興会 第2回中野区検定「中野区ものしり博士」

趣味：水泳、ゴルフ、フットサル、野球

新たに政策を  
打ち立てました！

1. イノベーションで政治の諸課題を解決する！

国家戦略特別区域制度を活用することでイノベーションを巻き起こす。この制度は国の法律の緩和・変更できる強力な法律である。常識にとられない新たな技術革新に促すため、規制緩和を進めていく。イノベーションにより、政争が解決した事例はたくさんある。

2. 科学的知見に基づいた正しい選択がなされる社会を実現する！

感覚ではなく、科学的根拠を持った正論で政策を語るべきである。原発事故による放射線量、築地・豊洲の土壌・地下水の環境基準しかり、ともすれば世論はゼロリスクを求めがちである。しかしゼロリスクは健康的に不要、費用的に不可能であったりする。科学技術をもって、さらに適切な基準・判断を作っていくべきである。

3. 若者が地域のために協同し、ワクワクする社会を創造する！

地域に眠る若者を中心とした人的資源の発掘を行い、地域力を向上させる。若者が集まり、語り合える仕組みを作り、地元の仲間の絆をより深めていく。そして地域の次の担い手となり、持続可能な地域活動・自治体としての骨格作りのさらなる推進をする。人づくりは国づくり！

中野区議会議員になっての2年間の活動まとめ



自民党青年部として選挙活動

中野区議会ねぶた議連で東北復興祭に参加

イベントにパネリスト等として多数参加

中野区ものしり博士

東京青年会議所の一員として  
わんぱく相撲中野区大会を運営

中野区検定  
「中野区ものしり博士」を取得

後援会バスツアー、多数の参加ありがとうございます

富士高アメフト部後援会長としてイベント開催

## 国家戦略特区を活用し中野区独自のグローバルルールを創れ

Q. 既存の戦略特区事例である民泊やドローン等の規制緩和の利用に加え、官民の知恵を活かした中野区独自の特区の推進に向けて、技術開発とそれに必要な規制緩和を推進すべきと考えるがどうか。

A. 現時点では規制緩和に係る提案には至っていないが、中野区グローバル戦略推進協議会等の議論を活発化させたい。

## 弥生町防災まちづくりを推進せよ

Q. 川島町アパート跡地に整備する公園は、地域の行事を通じて、防災設備等を活用した訓練の場として積極的に利用されるべきと考えるがいかがか。

A. 現在、防災力向上に効果的であるため、防災機能を有した公園の計画が立てられ、平成 29 年度に完成予定である。

## 世界最先端の豪雨予測技術を用いた警報システムの構築について

Q. 世界初のゲリラ豪雨予測技術（国土交通省国土技術政策総合研究所）により 1 時間後の浸水予測が可能となった。区は、この情報を利用して防災、減災及び避難行動等の社会実験に参画すべきである。

A. 現在、本年度、ゲリラ豪雨予測情報をインターネット配信する社会実験を神田川沿いで行う予定である。

## たくまが吼える！



## 私が議会でとりあげた主要な質問・提案事項

## 中野を誇りある「まち」へ

Q. 徳川綱吉創設した犬屋敷（中野駅周辺）は、生類憐みの令の悪法のレッテルから中野の黒歴史であったが、近年、同令は辻斬り等をなくするための人権擁護、動物愛護の法律との解釈がある。屋敷の後は徳川吉宗が桃園を造り、日本初の公園となった。この素晴らしい歴史事実を授業等で広報しては。

A. 現在、小学校の社会科や総合的な学習の時間を活用されている。

## 樹木の維持管理の考え方について

Q. 区の計画には、区民のモノ・施設へ対する哀愁、ノスタルジーへの配慮が足りない。例えば、桜の木の中長期的な維持管理には、樹木の健康状態を管理するため樹木台帳が必要と考えるがいかがか。

A. 現在、中野区が管理する樹木の管理台帳を作成中である。

## 中野のにぎわい・魅力向上を図れ

Q. 四季の森公園を代々木公園のようなイベントパークとしてブランド化することを提案する。食べ物の大イベントの誘致・開催や、東京五輪におけるパブリックビューイングの設置などで集客が見込める。

A. 現在、四季の森公園拡張用地は 5 月より食のイベントが行える公園となり、今後多くの催しが開催されることとなる。

## 東京オリンピック開催に向け受動喫煙防止施策の検討を

Q. 五輪開催国のイギリス、ブラジル同様、日本も飲食店は原則建物内禁煙、もしくは喫煙室設置による分煙とする方針である。制度が始まる際に、区内飲食店に地域性を考慮したアドバイスができる体制、店舗改装費用の助成等の検討をすべきでは。

A. 国・都の支援制度の情報提供、区内飲食店や関係団体の状況等を把握しながら必要な支援について検討していきたい。

また、中野の地球温暖化の実態、区内のインターネット環境、新しい区役所整備基本構想、中野区独自の民泊制度の制定、マイナンバー制度、平和の森公園および新中野体育館、熊本地震を教訓とした災害対策の在り方、ICTCO（一般社団法人中野区産業振興推進機構）の運営方針、体系的で区民にわかりやすい組織のあり方、防犯カメラによる安全・安心のまちづくり、人権擁護施策（ダイバーシティ、LGBT）、ユニバーサルデザイン、予算など多岐にわたる分野において質問・質疑を行ってきました。

皆様のご意見をお聞かせ下さい

